

# ICTを活用した教育DXの取組

旭川市立大有小学校 学級数17 (校長 佐藤 潤一)

## 実践の概要

本校は、平成25年度から「学校力向上に関する総合実践事業」の中核校として、包括的な学校力の向上に取り組んできた。今年度は、グランドデザインに「ICTを活用した学校教育DXの取組」を具体的に位置付け、学校組織や仕組の変革、業務の効率化・最適化の実現を目指して実践を進めた。

## 1 実践の目的

校長のリーダーシップの下、ICTを活用して「働き方改革」「授業改革」「学びの保障」の3つの柱で学校教育DXに取り組み、全教職員が一つのチームになって児童と教職員の Well-being を実現する学校づくりを推進する。

## 2 実践内容

### (1) 実施計画

学校力向上に関する総合実践事業の実施要綱に基づき、包括的な学校改善の視点を基盤としながら、令和4年度から2年間にわたり、教育DXの学校改革を推進した。

### (2) 取組の具体

働き方改革×ICT～教材研究などの時間を生み出すためのデジタルによる業務の効率化

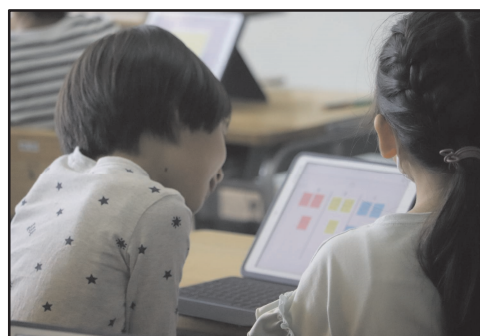
- ・日報、週案、安全点検、備品点検などの校務を、クラウド上で共同編集し効率化した。
- ・欠席等の連絡や健康状態の把握をクラウド上で行うことで、全校児童の体調等を瞬時に整理し共有した。
- ・会議の提案から質問までをクラウド上で事前に行い、情報共有や協議にかかる時間を大幅に短縮した。

授業改革×ICT～1人1台端末を活用した児童が主体となる授業への転換

- ・「探究的な学習過程」のもと、「大きくりの学習問題」の中で、児童一人一人が自分の課題を設定し、1人1台端末を活用して、学習内容や学習方法を「選択」しながら学習を展開することで、「個別最適な学び」の充実を図った。
- ・アプリを活用して、「他者参照」しながら学習を進めることができる環境を整えたことにより、児童が自分のタイミングで友達のを考えを取り入れたり、同じ課題を追究している友達と交流したりするなど、「協働的な学び」の姿が変容した。

学びの保障×ICT～児童一人一人の学びのニーズに応えるタブレット端末の家庭への持ち帰り

- ・教育ソフトを活用して苦手な教科・分野や更に伸ばしたい教科・分野などを自分で「選択」する学びに取り組んだ。
- ・授業で調べきれなかったことや次時の課題の個人追究など、授業と関連させた学びに取り組んだ。
- ・長期休業中に自分の興味や関心に応じて課題設定した探究的な学習「わくわく調査隊」に取り組んだ。



【「他者参照」しながら学びを進める2年生】

### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

学校評価や授業公開研修会での反省、参加者からの意見などから取組の点検・評価を行った。今後は児童と授業の目標を共有し、それに対応した振り返りの視点を設定することで、「主体的・対話的で深い学び」の質をより高めていく。

### (4) 改善後の取組

明らかになった課題の解決に向け、12月と2月の校内研修で授業研修を設定し、改善に取り組んでいる。

## 3 実践のポイント

- ・ICTを活用した授業改革に全教職員で取り組み、同時に教員個々のICT活用指導力の向上を図ったこと
- ・失敗を恐れずに、児童に学習内容や学習方法を選択・決定させるなど、児童が主語となる学びを目指したこと

# エビデンスに基づく帯一DXとICTを活用したOODAループによる教育実践

帯広市立帯広第一中学校 学級数 18 (校長 堂山 貴也)

## 実践の概要

本校は、各種調査結果等のデータベース化を進め、ICTを活用したエビデンスに基づく生徒理解と授業改善の取組を推進している。また、職員会議資料等のデジタル化による確実な情報共有、OODAループによる短期の検証・改善することにより、職員の働き方改革を推進している。

### 1 実践の目的

本校の『教育目標』と『学校経営の基本方針』、生徒の行動目標『Become the FIRST~FIRST PENGUIN~』の具現化のため、OODAループを理念とした積極的、組織的な教育実践を推進する。

### 2 実践内容

#### (1) 実施計画

エビデンスに基づいた生徒理解の徹底と授業改善

デジタル日報と情報リンクを活用し、効果的・効率化された情報共有の徹底

「ROAD」を活用し、全教職員のコアチームを中心とした働き方改革の推進

上記の取組について、OODAループを主軸に、業務の精選や効率的な業務推進を図ることにより、より働きやすく、生徒たちのためにエネルギーを集中できる職場・学校を目指す。

#### (2) 取組の具体

エビデンスに基づいた生徒理解の徹底と授業改善

各種調査結果等をデータベース化した「帯一DX」を作成し、様々な情報（全国学力・学習状況調査、チャレンジテスト、英検 IBA、標準学力調査、学力テスト、定期テスト、アセス等）の結果を整理、共有、分析し、課題解決へ向けてOODAループの考えのもと、検証・改善に全教職員で組織的に取り組んだ。

デジタル日報と情報リンクを活用し、効果的・効率化された情報共有の徹底

デジタル日報、デジタル職員会議録を作成し、短時間で膨大な情報量の確実な共有を図るとともに、1枚のシートから校長の月別学校経営ビジョンや各種情報リンクできるシステムを構築し確認、徹底を図った。

「ROAD」を活用し、全教職員のコアチームを中心とした働き方改革の推進

の取組をベースに、ICT及び校務支援システムを活用し、短時間で効果的、効率的な業務の推進に努め、超過勤務の解消を行った。また、校務分掌の再編や一人一人の役割の見える化により、会議の回数減につながった。

#### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

帯一DXを作成することにより、様々な情報を全教職員で共有、分析し、組織的に活用することで個別最適な学びにつなげることができた。校務におけるICT活用を推進したことにより、全教職員のICT活用能力が向上し、授業における1人1台端末の活用の充実につながった。

#### (4) 改善後の取組

日常的にICTを活用した取組を行ったことにより、全教職員がICTの操作に慣れるとともに、各教科等のほとんどの授業において、ICTを活用した学習活動を行った。今後は、生徒が課題に応じて活用する学習アプリを選び、主体的に学習することができる授業づくりに取り組む必要がある。

超過勤務時間が10月末現在で昨年度より、1人あたり合計77時間の短縮につながったが、超過勤務に差があることから、更なる改善に向け、業務分担の平均化を進める必要がある。

次年度は、教育目標の実現に向け、帯一DXと今年度との取組を基に全教職員における意欲的な『カリキュラム・マネジメント』に重点的に取り組む必要がある。

### 3 実践のポイント

全教職員によるデータベース化した各種調査結果等の共有、分析を通し、教職員のICT活用能力の向上を図るとともに、学校全体で授業改善及びOODAループによる取組の短期の検証・改善を推進したこと

全国学力・学習状況調査 国語	全国学力・学習状況調査 数学	全国学力・学習状況調査 英語
標準学力調査	定期テスト	チャレンジテスト
観点別 基礎・活用		学力テスト
英語 国語 数学	社会 理科 英語	
生徒理解 先生理解	生徒理解 先生理解	教員学習
	OODAループ	1年生前期 2年生前期 3年生前期 1年生後期 2年生後期 3年生後期
生徒指導交流	アセス	いじめアンケート

【帯広第一中学校DX】

令和5年度 帯広市立帯広第一中学校 日程	<b>OODAループ</b>	9月経営 ビジョン
9月1日(金)	北海道学校図書館 研究大会各小校 ～2日 福見・谷・川瀬 参加	今後の予定・締切
本日の予定	〇 朝礼文(27期の抱負・目標・頑張りたいこと) 〇 おび学1年手番(5・6h) 〇 全市レク 〇 名簿確認シェアウチ0:00～	
職員勤務	氏名 整理 時間 備考	氏名 整理 時間 備考
藤田 達実		二川 俊幸 達実
藤田 幸伸 全日		成田 陽子 暫欠 15:00～16:45 全日レクレーション参加
宇野 達実		町田由子 達実
藤田のぶみ 達実		藤田 雅夫 14:00～16:45
生徒へ	№ 対象	連絡事項
① 生徒会		明日はつ運動 有る参加者 2 7期交際員さん 懸休み 2期多目的室② *有るによるあいつ運動についての説明をします。

【デジタル日報】